

平成21年度 第3回 微生物農薬検討会 議事要旨

日 時： 平成22年2月5日（金） 15:00～16:40
場 所： 農林水産消費安全技術センター農薬検査部 小会議室
出 席： 青木、国見、島津、三瀬（座長）各委員（五十音順）
（事務局）農林水産消費安全技術センター農薬検査部

今回の微生物農薬検討会は、新規申請の「タラロマイセス フラバス B-422株（モミキーパー水和剤）」、並びに、前回検討した「バチルス チューリングゲンシス アイザワイ GC-91株（チューレックス顆粒水和剤）」に関する指摘事項への回答」を議題として開催された。

議題1 タラロマイセス フラバス B-422株

- （1）事務局より、本剤については当検討会で初めて審議を依頼するものであること及び提出された試験成績等資料の概要及び評価案について説明された。
- （2）提出された資料を検討した結果、特に問題はなく、評価案は了承された。

議題2 指摘事項への回答

バチルス チューリングゲンシス アイザワイ GC-91株
（平成21年度第2回検討会指摘事項に対する回答）

- （1）本株は β -外毒素を産生しないとしているが、その試験の具体的な方法について確認すること、との口頭指摘に対し、事務局より、本株についてはイエバエを用いたバイオアッセイで β -外毒素非産生菌であることが報告されており、原体についてもイエバエを用いたバイオアッセイで β -外毒素が存在しないことが確認されたとの説明があり、確認の上、特に問題はなく、了承された。
- （2）蜜蜂影響試験において、滅菌対照区でも高い死亡率を示した試験があるが、その原因について考察すること、との口頭指摘に対し、事務局より、蜜蜂影響試験における滅菌処理区の死亡率の相違は、病原性の不純物や耐熱性の β -外毒素等の影響ではなく、蜜蜂の齢、試験時期の違いによる活力等の差によって、推定される餌摂取量の低下の影響をより強く受けたためではないかと考えるとの説明があり、確認の上、特に問題はなく、了承された。